

2019年(平成31年)3月21日(木・祝)

PM12:30~

早稲田大学15号館101教室

2019年(平成31年) 第1回 関東学生卓球連盟 代議員会

議 題

- 1) 2019年(平成31年度) 役員紹介 …………… P2
- 2) 2018年(平成30年度) 事業報告 …………… P3
- 3) 2018年(平成30年度) 会計報告・登録状況報告…別冊
- 4) 規約等改正(案)について …………… P4~10
- 5) 2019年(平成31年度) 事業計画(案)
(別冊資料・前期大会等要項 P2 参照)
(含・使用球の件(統一球各大会振り分け)) …………… P11
- 6) 2019年(平成31年度) 会計予算(案) ……………別冊
- 7) 2019年(平成31年度) 登録について……………別冊
- 8) 2019年(平成31年度) 前期大会等要項について…別冊
- 9) その他
 - ・学連への連絡の件(メール使用の推奨など) …………… P12
 - ・エントリーシステムについての諸連絡 …………… P12~14
 - ・国際交流届の件 …………… P14~17
 - ・全日本選手権 予選会申請書の件 …………… P14・18
 - ・所沢市民体育館利用方法について …………… P19
 - ・関東学連の会計処理の件 …………… P20
 - ・各種オープン大会への出場について(再確認) … P21~22
 - ・賞罰履歴 …………… P23
 - ・OB・OG連盟加盟について …………… P24
 - ・報知新聞後援・購読依頼の件 …………… P25~26
- 10) 以下、1・2部、及び3部以下別
 - 1・2部校
 - ・春リーグ、新人戦、関東高体連合同強化事業、等の連絡事項
 - 3部以下
 - ・春季リーグ戦・会場及び日程について

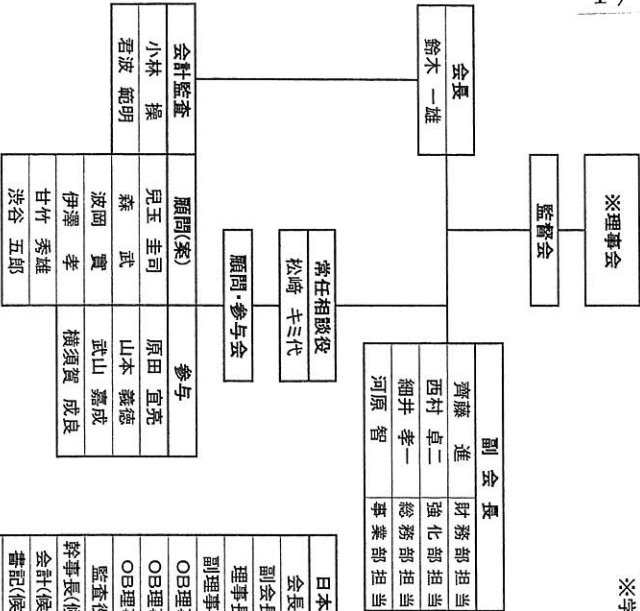
2019年(平成31年度) 関東学生卓球連盟 組織図(案)

平成31年3月

代議員会	
幹事会	幹事
理事 幹事長	西山 北大
副幹事長	宮崎 孝一郎
理事 会計	荒井 咲季
理事 書記	堀津 有貴
理事 幹事	栗 晶太郎
理事 幹事	黒目 和樹
理事 幹事	黒田 美桜
理事 幹事	千葉 雅也
理事 幹事	鈴木 健吾
理事 幹事	牧野 麗

技術員会	
男子	女子
藤井 宗大	明治大 明治大
久保 岳	専修大 専修大
碓塚 将人	早稲田大 早稲田大
相馬 練	日本大 日本大
一ノ瀬 拓巳	中央大 中央大
上野 亨樹	駒澤大 駒澤大
梅崎 光明	英波大 英波大
高取 侑史	法政大 法政大
小田 康介	埼玉工業大 埼玉工業大
内村 秀平	日本体育大 日本体育大
山田 善生	大正大 大正大
赤松 秀平	慶應義塾大 慶應義塾大
関 有貴	国学院大 国学院大
岩河 虎ノ介	東京経済大 東京経済大
	山谷 愛理
	東京女子体育大 東京女子体育大

※学年は、新学年



日本学生卓球連盟	会長 児玉圭司
	副会長 鈴木一雄
	理事 西村卓二
	副理事長 黒羽隆二
	OB理事長 河原 智
	OB理事 佐藤 真二
	OB理事 氏田 知孝
	監査役 宮崎 孝一郎
	幹事長(候補) 鈴木 美桜
	会計(候補) 鈴木 健吾
	書記(候補) 鈴木 健吾
	常任幹事(候補) 西山 北大
	荒井 咲季

(公財)日本卓球協会(30年度)	理事(日学連) 西村 卓二
	評議員(日学連) 児玉 圭司
	代表者会議(日学連)

東京都卓球連盟	会長 推薦 鈴木 達也
	理事 宮本 勝典
	代議員 鈴木 勝典
※理事会	OB/OBOB推薦
	監督会推薦
	宮本 勝典
	池田 由美子
	氏田 知孝
	長崎 健志
	高宮 啓
	多賀 康之
	沼田 博之
	小野 博良
	古谷 修一
	黒羽 隆二
	鈴木 達也
	川田 雄二
	長田 拓也

部・委員会名	委員長	副委員長	委員	担当幹事
財務本部	部長 鈴木 達也	小野 博良	恒川 明久 長田 拓也	
会計	鈴木 達也	小野 博良	恒川 明久 長田 拓也	
事業本部	部長 黒羽 隆二	恒川 明久	黒羽 隆二 高宮 啓 矢島 淑雄	
強化本部	部長 鄭 泰應	男子 宮本 勝典 長崎 健志 女子 池田 由美子	沼田 政之 古谷 修一 佐藤 真二 高山 幸信 永山 健一 高宮 啓 人見 剛 江尻 雄一 矢島 淑雄 川田 雄二	
強化本部	部長 氏田 知孝	男子 宮本 勝典 長崎 健志 女子 池田 由美子	沼田 政之 古谷 修一 佐藤 真二 高山 幸信 永山 健一 高宮 啓 人見 剛 江尻 雄一 矢島 淑雄 川田 雄二	
総務本部	部長 多賀 康之	江尻 雄一	渡邊 勝美 太田 秀明 黒羽 隆二 沼田 政之 川田 雄二	長崎 隆志 長田 拓也 坂垣 賢一 豊久 静香 ※鈴木 忠男 ※三浦 弘子
総務本部	部長 細井 孝一			

2) 2018年(平成30年度)事業報告
(詳細は、後日HP掲載の事業報告書を参照の事)

2018年(平成30年)・関東学生卓球連盟・事業日程

関東	日本	事業名	期日	会場
関		東京都女子高体連PR会	2/18(日)	武蔵野高校・体育館
関		2部以下強化練習会	2/18(日)	専修大学・生田校舎・総合体育館・卓球場
関		欧州遠征(サフィールオープン等)	2/19(月)~27(火) (サフィールオープン=2/23(金)・24(土))	スウェーデン
関		送別会・兼・年間優秀選手表彰式	3/3(土)	専修大学・神田校舎・1号館・15階ホール
関		第1回代議員会	3/21(水・祝)12:30~	早稲田大学・戸山キャンパス・38号館・AV教室
関		関東学連・関東高体連合同強化事業	4/ 8(日)	中央大学・多摩キャンパス・第1体育館・3階卓球場
	日	日学連・高体連合同強化事業	4/12(木)~14(土)	JFE千葉体育館
関		公認審判講習会	4/29(日)13:00~	早稲田大学・戸山キャンパス・38号館・AV教室
関		関東新人戦	5/3(木・祝)・4(金)	座間市立市民体育館(スカイアリーナ座間)
関		春季リーグ戦		
		幹事校講習会	4/29(日)11:00~	早稲田大学・戸山キャンパス・38号館・AV教室
	1部リーグ		5/11(金)~13(日)	所沢市民体育館
			5/25(金)~26(土)	港区スポーツセンター
	2部リーグ		5/11(金)~13(日)	所沢市民体育館
	入替戦	6/ 9(土)	新座市民総合体育館	
関		インカレ・関東予選	5/21(月)	駒沢体育館
関		関東学生選手権	6/21(木)~23(土)	所沢市民体育館
	日	第88回 全日本大学総合選手権・団体の部 (旧・全日本大学対抗)	7/12(木)~15(日)	東京・墨田区総合体育館
関		第2回代議員会	7/22(日)12:30~	早稲田大学・戸山キャンパス・38号館・AV教室
関		第12回 関東学生チームカップ		
		” ・Cブロック(5・6部)	7/28(土)	駒沢屋内球技場
		” ・Bブロック(3・4部)	7/28(土)~29(日)	駒沢屋内球技場
関		全日学・関東予選	8/ 8(水)~ 9(木)	駒沢体育館
	日	第7回ドリームマッチ	8/25(土)~26(日)	長野県・長野市真島総合スポーツセンター
	日	日学連・日・中・韓交流	8/27(月)~31(金)	中国・哈爾濱商業大学
関		第12回 関東学生チームカップ		
		” ・Aブロック(1・2部)	8/30(木)~31(金)	駒沢屋内球技場
関		秋季リーグ戦		
		幹事校講習会	8/25(土)13:00~	岸記念体育会館・504号室
	1部リーグ		9/14(金)~16(日)	所沢市民体育館
			9/20(木)~21(金)	港区スポーツセンター
	2部リーグ		9/14(金)~16(日)	所沢市民体育館
	入替戦	10/ 6(土)	新座市民総合体育館	
	日	第85回 全日本大学総合選手権・個人の部 (旧・全日本学生選手権)	10/25(木)~28(日)	ベイコム総合体育館(兵庫県・尼崎市) (旧名称・尼崎市記念公園総合体育館)
関		関東学連・韓国強化合宿	11/14(水)~17(土)	韓国
	日	第15回 全日本学生選抜選手権	11/23(金・祝)・24(土)	日本ガイシスポーツプラザ・第2競技場(愛知県・名古屋市)
	日	日学連・フィンランドオープン出場	12/3(月)~10(月)	フィンランド
関		第53回 会長杯		
		” ・Bブロック(3部以下)	12/ 8(土)~ 9(日)	駒沢屋内球技場
		” ・Aブロック(1・2部)	12/ 8(土)~ 9(日)	駒沢屋内球技場

↑ ↑
「日」は、日学連関連事業
「関」は、関東学連関連事業

H30年度のスケジュールの特徴は、
・関東学連は、インカレを主管する。

4) 規約等改正（案）について

関東学生卓球連盟・規約類 改正案

関東学生卓球連盟・事業実施細則

第 2条 関東学生卓球新人選手権大会（主催 関東学生卓球連盟）

5. 他大会への推薦

優勝者、及び優勝ペアは当該年度全日本学生選手権大会に関東学連より推薦する。但し、外国人留学生は除く。

↓

シングルスベスト4、ダブルス2位以内は、当該年度全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部に関東学連より推薦する。但し、外国人留学生は除く。

第 5条 全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部（全日本学生卓球選手権大会） （主催 日本学生卓球連盟）

3. 出場資格

- (1) 前年度当該大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位までは無条件出場
- (2) 前年度全日本学生選抜選手権大会シングルス決勝トーナメント進出者16名は無条件出場
- (3) 前年度全日本選手権大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位までは無条件出場
- (4) 当該年度開催のオリンピック夏季大会、またはユニバーシアード夏季大会の代表選手は、単複ともに（複はパートナーを問わず）無条件出場。
- (5) 当該年度関東学生選手権大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位までは関東学連より推薦
- (6) 当該年度関東学生新人選手権大会優勝者、及び優勝ペアは関東学連より推薦
- (7) 前年度秋季、及び当該年度春季関東学生リーグ戦殊勲賞・敢闘賞はシングルスへ、最優秀ペア賞はダブルスへ、それぞれ関東学連より推薦
- (8) 前年度会長杯争奪卓球大会（A・B両ブロック共）優勝者、及び優勝ペアは関東学連より推薦
- (9) 前年度関東学生チームカップAブロック優勝チームで5勝以上を

げた選手中よりチーム代表者（監督）が選んだ1名を、シングルスへ関東学連より推薦。

(10) 理事会から特に推薦すべきであると認められた者

(11) 予選通過者

但し、日学連登録済みの大学生の内、日本国籍を有する者、及び永住権を有する者に限る。外国人留学生選手は、関東地区予選・本大会とも出場できない。

↓

(6) 当該年度関東学生新人選手権大会シングルスベスト4、ダブルス2位以内は関東学連より推薦

(7) 前年度秋季、及び当該年度春季関東学生リーグ戦1部殊勲賞・敢闘賞・優秀選手賞・最優秀新人賞はシングルスへ、最優秀ペア賞はダブルスへ、それぞれ関東学連より推薦

第 6 条 全日本学生選抜卓球選手権大会

3. 出場資格

(1) 当該年度全日本学生選手権大会シングルスランキング16位まで。

(2) 本連盟に登録済みの外国人留学生。

(日学連内規・3条に定める「B.外国人留学生選手」、「C.就労が認められている資格のもので、理事会での登録を認めたもの」)

(3) 主管学連推薦者・男女各4名ずつ。

(4) 日学連強化委員会推薦者。

但し、全日学ランク入りした日本人選手に関しては、原則として本大会への出場を義務とする。止むを得ない事情がある場合は、その理由を記した欠場届けを本連盟に提出しなければならない。無断で本大会を欠場した場合、及びその理由が正当でないと判断された場合は罰則を課す場合がある。また、日学連強化委員会推薦者は全日学ランカーの欠場の補充とし、両者の合計は16名とする。

↓

3. 出場資格

(1) 当該年度全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部シングルスランキング16位まで。

(2) 本連盟に登録済みの外国人留学生。

(本連盟内規・第3条に定める「B.外国人留学生選手」、「C.就労が認められている資格のもので、理事会での登録を認めたもの」)

(3) 主管学連推薦者・男女各4名ずつ。

(4) 各学連（主管学連以外）推薦者・男女各1名ずつ。

(5) 日学連強化委員会推薦者。

但し、全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部でランク入りした日本人選手に関しては、原則として本大会への出場を義務とする。止むを得ない事情がある場合は、その理由を記した欠場届けを本連盟に提出しなければならない。無断で本大会を欠場した場合、及びその理由が正当でないと判断された場合は罰則を課す場合がある。また、日学連強化委員会推薦者は全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部ランカーの欠場の補充とし、両者の合計は16名とする。

4. シード規定

(2) 予選リーグ

①各ブロックの1段目

当該年度全日本学生選手権シングルのランキング上位選手をAブロックから順に自動的に割り振る。欠場がない場合は、

Aブロック 全日学優勝者 (ランク1位)

Bブロック 全日学準優勝者 (ランク2位)

Cブロック 全日学ランク3位

:

Hブロック 全日学ランク8位

となる。欠場があった場合は、ランク9位以下を繰り上げる。

②各ブロックの2段目

外国人留学生選手8名を入れる。

前年度の全日学選抜においてベスト8入り（決勝トーナメント進出）した外国人選手は2段目に入れなければならない。また、前年度の全日学選抜において、ベスト4に入った外国人選手はE～Hブロックに入れなければならない。

前年度の全日学選抜においてベスト8入りした外国人選手が当該年度に8名出場しない場合は、前年度の全日学選抜ベスト16（予選リーグ2位）の外国人選手の中から抽選によってこれを補充する。

以上でも2段目の候補者が8人に満たない場合は、「当該年度の各学連選手権」「前年度のインターハイ（1年生に限る）」「その他」の戦績を基に、有力な外国人留学生選手を選出し、抽選でこれを補充する。

③各ブロックの3段目

当該年度全日本学生選手権シングルのランキング9～16位の内、1段目に入らなかった選手、及び強化委員会推薦者を抽選で割り当

てる。

④各ブロックの4段目

主管学連推薦者4名、及び外国人留学生選手6名を入れる。

主管学連推薦者は必ず4段目に入れなければならない。

前年度の全日学選抜においてベスト16（予選リーグ2位）の外国人選手は原則として4段目までに入れなければならない。

⑤各ブロックの5段目・6段目

外国人留学生選手を無作為抽選にて入れる。

⑥以上の全段の抽選においては、極力、同じ大学の選手を同じブロックに入れない様に考慮する。それ以外は、無作為抽選を原則とし、全日本学生のベスト8決定戦の対戦者が同じブロックの1段目と3段目に入ることも妨げない。



4. シード規定

(2) 予選リーグ

①各ブロックの1段目

(省略(変更なし))

②各ブロックの2段目

当該年度全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部シングルス
のランキング9～16位の内、1段目に入らなかった選手、及び強化
委員会推薦者を抽選で割り当てる。

③各ブロックの3段目

主管学連推薦者4名、及び外国人留学生選手4名を入れる。

主管学連推薦者は必ず3段目に入れなければならない。

外国人留学生選手は、前年度の全日学選抜の結果の上位より充てる。

(ベスト4→ベスト8→ベスト16)

前年度ベスト16の外国人留学生選手で3段目が満たない場合は、

その他の外国人留学生選手の抽選にてこれを補充する。

また、前年度の全日学選抜において、ベスト4に入った外国人選手は
E～Hブロックに入れなければならない。

④各ブロックの4段目

各学連(主管学連以外)推薦者の8人を抽選にて入れる。

⑤各ブロックの5段目・6段目

3段目に入らなかった外国人留学生選手を無作為抽選にて入れる。

⑥以上の全段の抽選においては、極力、同じ大学の選手を同じブロックに入れない様に考慮する。それ以外は、無作為抽選を原則とし、

全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部のベスト8決定戦の
対戦者が同じブロックの1段目と2段目に入ることも妨げない。

(3) 決勝トーナメント

- ①予選リーグで上位2名以内に入った選手・男女各16名で決勝トーナメントを行なう。
- ②予選1位通過者(8名)
予選リーグ1位通過者は、抽選により、1番、4番、5番、8番、9番、
12番、13番、16番(第1～第8シード)に入れる。
- ③予選2位通過者(8名)
予選リーグ2位通過者は、予選リーグで対戦した選手と反対側の
トーナメントゾーンに振り分けて抽選する。
- ④抽選においては、予選リーグの再戦を決勝まで回避する点以外は
無作為抽選を原則とする。同じ大学の選手の対戦や全日本学生で
対戦した選手との再戦も妨げない。抽選にあたっては、予選リーグの
順(A～H)に予備抽選を行なった後、本抽選を行なうものとする。



(3) 決勝トーナメント

(省略(変更なし))

- ②予選1位通過者(8名)

Aブロック

1番(第1シード)に入れる

Bブロック

16番(第2シード)に入れる

C・Dブロック

抽選にて8番、または9番(第3～第4シード)に入れる

E・F・G・Hブロック

抽選にて4番、5番、12番、13番(第5～第8シード)に
入れる。

- ③予選2位通過者(8名)

(省略(変更なし))

第 8 条 関東学生卓球リーグ戦（主催 関東学生卓球連盟）

13. その他

（前略）

ハ. 各ブロックにおいては、選手・役員の集合・解散に要する諸事情（含、宿泊・交通）を考慮し、集合時間、試合開始時間、2 台進行開始時間などを設定し、可能な限り順守するよう努めることとする。これらには会場の都合などもあるため、最終的には幹事校が判断することとする。

2 台進行の目途とする時間は、1 部は 3 時間、2 部は 2 時間半、3 部以下は 1 時間とする。

↓

ハ. 各ブロックにおいては、選手・役員の集合・解散に要する諸事情（含、宿泊・交通）を考慮し、集合時間、試合開始時間、2 台進行開始時間などを設定し、可能な限り順守するよう努めることとする。これらには会場の都合などもあるため、最終的には幹事校が判断することとする。

2 台進行の目途とする時間は、1 部は 2 時間半、2 部は 2 時間、3 部以下は 1 時間とする。

（条項追加）ニ. 関東学生リーグ戦においては、ゼッケンは日本卓球協会公認のもの以外のオリジナルデザインのものも認める。
但し、日本卓球協会への登録に関しては、確実にこなう必要がある。

第 9 条 関東学生卓球チームカップ（主催 関東学生卓球連盟）

3. 登録規定

（前略）

（4）上位ブロックへ勝ち上がるチームは、1 名の選手を追加、または変更してエントリーすることが出来る。但し、その選手は、既に敗退したチームのメンバーであるか、または未エントリーの選手でなければならない。

↓

（4）上位ブロックへ勝ち上がるチームは、1 名の選手を追加、または変更してエントリーすることが出来る。

（条項後半部分の削除）

4. ブロック分け

（前略）

下位ブロックで上位に進出したチームは、上位ブロックに参戦する権利を

得る。

上位参戦チーム数は、各ブロックにおける参加チーム数に応じて変動するが、概ね「参加7～8チームあたり、1チーム上位参戦」する。

↓

上位参戦チーム数は、各ブロックにおける参加チーム数に応じて変動するが、概ね「参加9～10チームあたり、1チーム上位参戦」する。

2019年(平成31年度)・関東学連・統一球の振り分け

	大会No	ニッタク	タマス	Victas	日程(参考情報)
関東新人戦	1		●		5/3~5/4
春リーグ 1・2部	2		●		5/10~12、5/16~17
3部以下	3	●			4/27~6/22の間の2日間
インカレ予選	4	●			5/27
関東学生選手権	5	●			6/6~6/8
インカレ本戦	6	●			7/4~7
チームカップ B・Cブロック	7	●			8/3~4
全日学予選	8		●		8/6~7
チームカップ Aブロック	9		●		8/22~23
秋リーグ 1・2部	10		●		9/4~5、11~13
3部以下	11	●			8月末から10/5の間の2日間
全日学本戦	12		●		10/24~27
全日学選抜	13			●	11/23~24
会長杯	14			●	12/14~15

※春秋のリーグ戦の入替戦は、1・2部入替戦と2・3部入替戦のみ、タマスボールを使用し、3部位決定戦以下の試合はニッタクボールを使用します。(上位部に合わせる原則のため)

※インカレ予選、全日学予選は、それぞれインカレ本戦、全日学本戦と同じボールを採用します。(従来通りの方針)

→ 日学連が2019年より統一球制度を採用し、2019年はインカレ=ニッタク、全日学=タマスと決定済みのため、それぞれの関東予選も同じものを採用します。
2020年以降は、後日、別途検討予定。

使用ボール

ニッタクボール プラ3スター・プレミアム
(従来と同じ)

タマスボール バタフライ スリースターボール A40+
(去年と同じ。但し、製造時期により、多少の品質のバラツキがある。
関東学連では、2019年3月時点での最新の製造のものを使用)

Victasボール CP40+3スターボール
(去年と同じ)

9) その他

●学連への連絡の件（メール使用の推奨など）

学連への問い合わせ等、ご連絡は、電話よりもメールの方をお勧めします。
電話の場合は、

- ・常時、役員がいるわけではないので連絡が取れないことがある
（特に大会期間中など）。
- ・記録が残らないので、誤解などからあとで「言った言わない」のトラブルになる危険性がある

といったデメリットがあります。

学連にメールする際は（他の時でも同じでしょうが）、出来るだけ件名（タイトル）をつけるようお願いします。

受信側のメールツールの設定にもよりますが、タイトルのないメールは自動的に迷惑メールに振り分けられる危険性もあります。

学連のように、メールアドレスを一般に公開しているところには、1日に何十通も迷惑メールが来ますから、そこに紛れると見落とす危険性が高くなります。また、タイトルのないメールが他校も含め、何通も来ると、学連側としては後から探す場合などに非常に無駄な手間がかかります。

メールを送る時は注意してください。

また、メールタイトルは、そのメールの内容を端的に示すものであると理想的です。

●エントリーシステムについての諸連絡

エントリーシステム (<http://www.kanto-sttf.com/login>) は、先月（2019年2月）にリニューアルしました。不備など、気付いた点があれば、メールにて japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp までご連絡ください。

エントリーシステム (<http://www.kanto-sttf.com/login>) は、関東学連のHPとは別のサーバーで動いている別のシステムです。
万が一、関東学連のHP (<http://kanto-sttf.jp/index.html>) が、トラブルにより接続しづらくなることがあっても、大会の申込や選手の追加登録などは、<http://www.kanto-sttf.com/login> から行なうことが出来ますので、覚えておいて下さい。

各種の登録作業を行なった際、「登録できました」といったメッセージが表示されずにID、パスワード入力待ちの初期画面に戻ることがあります。この場合は、タイムアウト（時間切れ）で、直前の入力内容は登録されていない可能性が高くなっています。

再度、ID、パスワードを入力し、ログインして、登録内容を確認してください。

「部員管理」→「部員登録一覧」→「編集」の出身校は、出来るだけ「〇〇高」に統一してください。

現在、「〇〇」や「〇〇高等学校」などバラバラの状態。

但し、秀光中等教育校など、「高」でない場合は、現状のままで良い。

登録されている情報が、そのままプログラムに掲載される内容に直結します。選手名の誤登録などが目立ちますので、注意してください。

例)「奈」と「菜」、「理」と「里」、「美」・「実」・「未」、など。

「大学管理」→「登録情報」の「代表者」「監督」「主務」「代議員」のメールアドレス記入欄が2つになっています。

学連からの通知は、添付ファイル付きや、HPへのリンクURL付きが多くなっています。

従来からの「メールアドレス」欄が、「数日に1回は必ずチェックする」、「添付ファイルやリンクURLを拒否しない」のであれば、それだけでも結構です。

新設の「メールアドレス2」は、「1がエラーの際のバックアップ」の位置付けです。

入力必須ではありませんが、出来れば登録してもらった方が連絡が付きやすくなります。

例)「1」は常時見るスマートフォンのメールアドレス

「2」は、数日に1回しか見ないが、添付ファイルなどの見やすいパソコンのメールアドレスなど、用途に応じて登録してください。

主務と代議員の「連絡先」(電話番号)と「メールアドレス」は、再度、確認してください。全角・半角、コンマ(,)と点(・)や、ハイフン(-)と長音記号(ー)などに注意してください。(メールアドレスは、コピーして自分

宛に送るなど)。

ヤフーメールからの受信を拒否するなど、受信メールの制御を行なっている場合は、少なくとも、japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp からのメールのみは通すようにしてください。

また、添付ファイル付きメールやリンク付きメールを拒否する設定を行なっている場合も、可能であれば japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp からのこれらのメールは拒否しないように設定してください。

学連から送信したメールが大量にエラーになると、大変混乱します。

●国際交流届の件

日卓協の国際交流届は、

日卓協HP→「大会について」→「国際交流届 申し込みフォーム」で届出できます。

<http://www.jtta.or.jp/tournament/tabid/229/Default.aspx>

関東学連登録選手は、海外に渡航して国際交流を行なう際、渡航の1ヶ月前をメドに、この届け出を行なってください。

以前からある書類での提出も可能です。書類の場合は、届を記入し

- ・「関東学連」(japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp)
- ・「自分の所属する各都道府県卓協（東京都卓球連盟、神奈川県卓球協会、など）」の2箇所メール添付で申請をするようにしてください。

●全日本選手権 予選会申請書の件

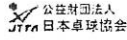
現在、所属している都道府県でなく、卒業高校の都道府県から全日本選手権の予選会に出場を申請する場合、別紙の申請書の提出が必要です。

申請の流れ

本人→所属大学の登録地の加盟団体→本人→出場を希望する加盟団体
例) 明治大所属の青森山田高卒

本人 → 東京都卓球連盟 → 本人 → 青森県卓球連盟

※この書類の提出先は、学生卓球連盟ではなく、各県卓協であることに注意。



選手名 氏名: 姓 名

- ニュース
- 卓球について
- ナショナルチーム・日本代表ほか
- 大会について
- 競技者・審判
- 協会について

協会について

協会について | 国際交流 | 申し込みフォーム

大会について

大会についてTOP

国内大会

国際大会

国内大会ランキング

公式大会優勝記録

国際交流届 申し込み
フォーム

国際交流届 申し込みフォーム

下記空欄を出来る限りご記入ください

- 海外へ渡航される前に外務省の海外安全ホームページ<http://www.ansen.mofa.go.jp/>で安全情報を必ずご確認ください。
- 外務省「たびレジ」ORRnet <https://www.sairyo.mofa.go.jp/>の登録を強く推奨します。
- 交流者が複数になる場合は、名簿リストファイルをフォーム末尾の「名簿リスト」のフォームから送付してください。
- 記入方法がわからない場合、うまく送信できない場合などは下記の資料をダウンロードいただき、日本卓球協会へ郵送するか、メール添付にてお送りください。
[国際交流届\(PDF\)](#) [国際交流届\(ワードファイル\)](#)

交流情報

交流の目的 ※

交流内容(大会名など)

交流先協会名

交流者所属団体 ※

交流者所属クラブ名

交流者氏名 ※

交流者氏名(ふりがな) ※

性別 ※ 男 女

年齢 ※

区分 ※ 選手 役員 指導員

交流の期日
20xx年〇月〇日～20xx年×月×日

交流の場所
会場・クラブ名・住所をご記入下さい。

主催者

後援者

国歌・国旗使用 有 無

国歌・国旗使用詳細
国歌・国旗を使用する場合、「いつ」「どこで」「どのように」使用するか記載して下さい。

交流費用負担者

[Empty input field]

連絡先(日本)

名前

名前(ふりがな)

郵便番号 [住所検索](#)
例)150-0041 /ハイフンを入れてご記入ください

都道府県

住所
町名、番地、建物名、部屋番号までお書きください

電話番号
例)03-1111-1111

メールアドレス

連絡先(渡航先)

名前

名前(ふりがな)

住所

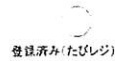
電話番号

メールアドレス

日本卓球協会への依頼事項

依頼事項詳細

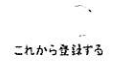
外務省渡航登録



登録済み(たびレジ)



登録済み(ORRnet)



これから登録する

外務省「たびレジ」(ORRnet) <https://www.ezairyu.mofa.go.jp>

複数名を一括して届け出る場合

名簿リスト

参照...

ナショナルチームスポンサー



国際交流届

- ・ 下記空欄を出来る限りご記入後、所属している 47 都道府県加盟団体へ提出してください。
- ・ 提出はメール添付送付でお願いします。不明の場合は、日本卓球協会へ送付してください。
- ・ 海外へ渡航される前に外務省の海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/> で安全情報を必ずご確認ください。
- ・ 外務省“たびレジ”“ORRnet” <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/> の登録を強く推奨します。
- ・ 交流者が複数名になる場合は、名簿リストを別紙にて送付してください。

交流の目的				
交流内容	大会名	その他		
交流先協会名				
所属(クラブ名)	交流者氏名	性別・年齢	区分	その他
	(ふりがな)	男 女 歳	選手 役員 指導者	
交流の期日	年 月 日 ~ 年 月 日			
交流の場所 会場・クラブ名・住所				
主催者				
後援者				
国歌・国旗使用	有 (いつ・どこで・どのように)			無
交流費用負担者				
連絡先 (日本) 名前・住所 電話・メールアドレス				
連絡先 (渡航先) 名前・住所 電話・メールアドレス				
日本卓球協会への依頼事項				
外務省渡航登録	登録済 (たびレジ ・ ORRnet)	これから登録する https://www.ezairyu.mofa.go.jp/		

平成 年 月 日

天皇杯・皇后杯 平成 年度全日本卓球選手権大会
予選会申請書

都 道 卓球連盟
府 県 卓球協会 会長 殿

*卒業高校所在地加盟団体名を記入

下記種目において貴団体の予選会に出場を希望いたします。

ふりがな	*	男・女	年齢
名 前	*	*	* 歳
卒業高校名	*	所在地	* 都 道 府 県
大学名	*	登録地	* 都 道 府 県
連絡先	*		
* 出場を希望する種目(出場を希望する種目を○で囲む)			
シングルス		ダブルス	混合ダブルス

* 本人記入欄

(大学の登録地 加盟団体)

上記選手が登録していることを証明いたします。

平成 年 月 日

加盟団体名

会 長

印

(卒業高校所在地 加盟団体)

上記選手が本団体の予選会に出場することを承認いたします。

平成 年 月 日

加盟団体名

会 長

印

注)この申請書は、日本学生卓球連盟に登録している選手が、卒業高校所在地の加盟団体で
標記大会の予選会出場を希望する選手が使用する申請書です。

(申請の流れ)

本人 ⇒ 所属大学の登録地の加盟団体 ⇒ 本人 ⇒ 出場を希望する加盟団体

※予選会出場の承認した加盟団体は本用紙を所属大学の登録地加盟団体にFAXをすること。

※本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より日本卓球協会事務局へ参加申込書と一緒に本用紙を提出すること。

2017.9.22

各校監督・主将・主務各位

関東学生卓球連盟
理事長 黒羽隆



所沢市民体育館利用方法について

平素は関東学生卓球連盟の事業運営にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて表題の件につきまして、今後大会事業で所沢市民体育館を利用するにあたり注意事項がございます。リーグ戦終了後体育館の方より厳しく指導があり、今後利用方法を守っていただきますようお願いいたします、という内容でした。各校監督、選手、OB・OG、選手関係者の方々におかれましては、体育館側で決められた事項を順守の上、ご観戦、応援の方よろしくようお願い申し上げます。

記

- 1、 入退場の件
監督、選手、コーチ、OB・OG、関係者含む応援の方々には、必ず2階出入り口より入退場されますようお願いいたします。1階からの出入り口は他の施設利用者専用となっておりますので利用できません。
- 2、 上履きと下履き入れ（袋）持参
体育館にあるスリッパは大会以外の施設利用者専用です。必ず上履きをご持参くださいますようお願いいたします。また、1階下駄箱も大会以外の施設利用者専用となりますので下駄箱は使用できません。
- 3、 駐車場利用の件
駐車場は体育館裏にあります有料駐車場(¥200)をご利用ください。運営側が利用する駐車スペースに無断駐車しないようお願いいたします。
- 4、 多目的トイレ
多目的トイレについては、障害者専用のトイレとなりますので、利用しないようお願いいたします。一般トイレをご利用ください。
- 5、 体育館の利用方法が守れないことを含め、大会運営に支障をきたす方がおられた場合、退場をしていただく場合もございます。

各校監督、主将、主務におかれましては、選手はじめOB・OG、関係者の方々へ今一度周知徹底をお願いする次第です。

ご理解ご協力よろしくようお願い申し上げます。

● 関東学連の会計処理の件

- 基本的に、関東学連へのお金の支払い（登録料、大会参加料等）は、コンビニ払いの請求書によって行なってください。
支払期限内に、確実に払うようにしてください。
- コンビニで支払い時に渡されるストアスタンプ付きの領収書が正規の領収書です。（現在、男女合計約160チーム中、約150チームはこれで問題なく処理が来ています）
- 領収書の再発行は出来ません。領収書を紛失することは、現金を紛失することと同じ意味を持ちます。
自己責任で、しっかり管理するようにしてください。
- 止むを得ず、学連の連盟印入りの領収書が必要な場合は、コンビニ払いの領収書との交換になります。（領収書の二重発行を防止するため）。
郵送や持参によって、コンビニ払いの領収書を提出するようにしてください。
- 例外的にコンビニ払い以外の方法で学連に支払いをする場合は、手渡しか、銀行振り込みとなります。
関東学連の銀行口座は
「三井住友銀行 渋谷支店 普通
店番号 654
口座番号 5127505 関東学生卓球連盟 」
です。
振込人は、「チームコード+大学略称+用途」としてください。
例)「198 ミホンダイ トウロクリョウ ハルリーグ」
(見本大学が、登録料と春リーグ関連の参加料などを振り込んだ場合)。
学連の連盟印入りの領収書が必要な場合は、振込票との交換となります。

平成26年6月24日

関東学連加盟校各位

平成26年度版・各種オープン大会への出場について

関東学生卓球連盟
会 長 渋谷五郎
理事長 鈴木一雄
幹事長 長田拓也

拝 啓

時下、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、表題の各種オープン大会への出場の件につき、下記の通り、ご連絡いたします。

平成21年4月17日より、オープン大会における団体戦の混成チーム禁止などの規制が関東学連の独自規定として定められていました。

それから5年が経ち、この規定が実態に即していない弊害なども散見されるようになったことから、平成26年6月24日に行なわれました関東学連・第3回理事会において、この一部を改訂して、下記の通りとすることが決定いたしました。

- ・国体（及び、国体予選）に関しては、県名チームでの出場を認める。
- ・地域エリア（市区町村など）の肩書で出場する場合は、所属大学名の明記は必須とせず、出場を認める。
(例：「〇〇市チーム」としての出場を可能とする)
- ・その他の大会に関しては、チーム名、ゼッケン、プログラムなどのいずれかに大学名が明記されることを前提として出場を認める。
これにより、地域や高校のOBチームなどに関しても、「〇〇高校OB（×××大）」のように、併記する形でも、現所属の大学名を明記すれば出場可能となる。
- ・他所属チームの選手との混成チームで団体戦に出場する場合は、申請書の提出を要する。
- ・日本リーグのレンタル制に伴う所属名の表記は、日学連の規定に従う。
(平成26年度現在は禁止)
- ・その他、この原則での運用し、支障が発生するようであれば、今後、さらに検討する。

今後、加盟校の皆様におかれましては、上記原則をご理解いただき、周知・徹底をお願いいたします。また、運用上での詳細の連絡を、関東学連のHP (<http://kanto-sttf.jp/>) において行なう可能性がありますので、定期的に確認をお願いします。

以 上

年 月 日

関東学生卓球連盟
会長 鈴木一雄 殿

_____大学
申請者氏名 _____

オープン大会への混成チームによる団体戦出場申請書

本校の下記の選手が、オープン大会に他所属チームの選手と混成チームを編成して出場致しますので、ここに申請いたします。

なお、出場にあたっては、「チーム名」、「ゼッケン」、「プログラム」などのいずれかに大学名が明記されることによって、本来の所属が明確にされることを約束します。

大会名 : _____

大会日時 : ____月____日 (____) ~ ____月____日 (____)

大会会場 : _____

大会出場チーム名 : _____

大会出場選手名 : _____ 、 _____ 、
_____ 、 _____

混成チームを組む相手の所属名・選手名など :

※出場を認めない場合もありえます。(チーム名が明らかに適切ではない場合など)
学連からの連絡が確実に受けられる連絡先を記入ください。

TEL : _____ FAX : _____

メール : _____

※関東学連事務所にメール、またはFAXで申請してください。

メール : japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp FAX番号 : 03-3496-9668

関東学生卓球連盟 ・ 賞罰履歴

年 月	違反内容	処罰内容
H29 (2017) 年 6 月	女子 春季リーグ戦で替え玉(他人のゼッケンで出場)	該当チームは、問題発覚時点のH30(2018)8月・秋リーグ戦にて4部から5部へ降部。
H22 (2010) 年 5 月	男子 春季リーグ戦でリーグ未登録選手が出場	該当試合無効。始末書提出
H21 (2009) 年 10 月	男子 3名がクラブチーム名でオープン大会に出場。	2ヶ月間出場停止処分。
H21 (2009) 年 6 月	男子 関東学生選手権で替え玉(他人のゼッケンで出場)	該当選手は除名。 該当チームは、リーグ戦3部から4部へ降部。
H21 (2009) 年 2 月	男子 海外遠征中に喫煙。 男子 海外遠征中に喫煙。	該当チームは1年間の海外遠征対象外。 "
H20 (2008) 年 5 月	女子 春季リーグ戦で替え玉(他人のゼッケンで出場) 女子 春季リーグ戦でリーグ未登録選手が出場	該当チームは、リーグ戦4部から5部へ降部。 該当試合無効。始末書提出
H20 (2008) 年 4 月	男子 クラブチーム名でオープン大会に出場。 男子 2名が実業団チーム名でオープン大会に出場。	2ヶ月間出場停止処分。 "

加盟大学卓球部 OB・OG 会

会長・理事長・幹事長各位

関東学生 OB・OG 卓球連盟

会 長 鈴木 一雄

理事長 多賀 康之

関東学生 OB・OG 卓球連盟 加入のお願い

拝啓、貴卓球部におかれましては、益々ご発展のこととお喜び申し上げます。OB・OG 連盟も加盟校の皆様のご理解ご協力により、今日まで多岐にわたり活動を続けてまいりました。本年度もさらに活動を活発化させ、関東学連の現役学生を側面から応援し、再び世界卓球の覇権を関東学連の学生が取り戻すため我々OB・OG が結束しなければなりません。つきましては、各 OB・OG 会の皆様に趣旨をご理解いただき、新年度学連登録に合わせて OB・OG 連盟への加入をお願いする次第です。(年会費 1 万円)

主な活動予定として①会長杯卓球大会の主催②OB・OG 懇親会の開催③OB・OG 卓球大会の開催。②、③については会費制とし、残額を現役学生の強化費として応援等、資金面においても支援する体制づくりを確立させたいと考えております。

懐かしい友人との楽しい再会を期待して、また関東学連のさらなる発展を応援するため、是非 OB・OG 連盟へご加入いただきますようお願い申し上げます。敬具

2019年(平成31年度) 関東学生 OB・OG 卓球連盟 登録申込書

大学名	OB・OG 会名		
会長又は 代表者名	自宅住所〒	TEL	
	メール(必須):	FAX	
幹事長又は 理事長名	自宅住所〒	TEL	
	メール(必須):	FAX	
① OB・OG 卓球 連盟への代表 者名	自宅住所〒	TEL	
	メール(必須):	FAX	
② 代表者の代理 者名	自宅住所〒	TEL	
	メール(必須):	FAX	

① OB・OG 連盟への代表者は会長または幹事長と重複しても差し支えありません。

② 加入締め切り 4 月末。

送り先 メール japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp FAX 03-3496-9668

平成 31 年 3 月 吉日

関東学生卓球連盟
会長 鈴木一雄 様

報知新聞社
販売局

スポーツ報知 新規ご購読者紹介のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび弊社では、貴連盟の大会をご後援させていただくこととなりました。

つきましては、新規でスポーツ報知をご購読いただける方をご紹介いただきたく、お願い申し上げます。

今後は、ご購読部数に応じて貴連盟の大会結果掲載など、紙面でも応援展開させていただきます。貴連盟と弊社が長きにわたり良い関係を続けていけるよう考えて参ります。

敬具

記

ご購読開始 2019 年 4 月～2019 年 9 月からのご購読を開始いただける方

ご購読期間 3 ヶ月以上

購読料金 1 ヶ月 3,355 円

対象エリア 全都道府県対象（但し下記の地域を除く）

中京 3 県(愛知県・三重県・岐阜県) 及び山口県、九州、沖縄県

お申込み方法 別紙用紙を使用し、大学ごとにまとめてご提出ください。

FAX の場合 03-5479-1249

郵送の場合 〒108-8485 港区港南 4-6-49 報知新聞社販売局 購読申込係
各月 1 日からの購読開始は、前月 25 日以前の平日までに申し込みのこと。

(4/1 から購読スタートの場合は、3/25 までに申し込み。)

但し、5/1 から購読スタートの場合は、連休の関係で 4/24 までに
申し込み。)

お願い ◎現在、スポーツ報知または読売新聞をご購読の方が、購読を中止してのお申込みは、対象外となります。

◎月極め購読となりますので、月の途中からのご購読開始・中止はご容赦ください。(転居に関しては、転居先で継続してご購読いただけます。)

以上

ご購読いただく読者情報						ご紹介者情報		
ご購読者氏名	ご購読開始月	ご購読期間	郵便番号	ご住所	電話番号	ご希望集金方法	ご紹介者	問合せ連絡先
	2019年 月	ヶ月				訪問集金・自振・一括支払い	関東学生卓球連盟 japan_kanto_stff@yahoo.co.jp ※お問合せはメールでお願い致します。	
	2019年 月	ヶ月				訪問集金・自振・一括支払い		
	2019年 月	ヶ月				訪問集金・自振・一括支払い		
	2019年 月	ヶ月				訪問集金・自振・一括支払い		
	2019年 月	ヶ月				訪問集金・自振・一括支払い		
	2019年 月	ヶ月				訪問集金・自振・一括支払い		
	2019年 月	ヶ月				訪問集金・自振・一括支払い		
	2019年 月	ヶ月				訪問集金・自振・一括支払い		
	2019年 月	ヶ月				訪問集金・自振・一括支払い		
	2019年 月	ヶ月				訪問集金・自振・一括支払い		

※ 月極めでのご購読のお願いになりますので、1日からのご購読をお願いいたします。

※ 新規で3ヶ月以上ご購読いただけるお客様の紹介をお願いいたします。

※ 現在、スポーツ報知・読売新聞をご購読いただいている方が、購読を中止してお申込みはご容赦ください。

※ 読売新聞販売店からのお届けとなります。集金方法等は、ご希望はお伝えしますが、担当の販売店にご確認ください。

※ ご提出はFAXまたは封書にて弊社販売局までお願いいたします。

FAX 03-5479-1249 郵送 〒108-8485 港区港南4-6-49 報知新聞社販売局 販売開発部購読係り

※ ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。 報知新聞社販売局 03-5479-1231